

平成30年 年頭の辞

納得できる大学改革の推進

昨年11月、文部科学省から嬉しい知らせを頂きました。一つは「私立大学研究ブランディング事業」に採択されたこと、もう一つは「私立大学等改革総合支援事業」において申請していた3分野すべてで選定されたことです。これにより、経常費補助金が増額されることとなりました。科学研究費の採択額と並んで、補助金の配分額は大学ランキングの重要な指標とされ、本学のプレゼンスの向上に大きく貢献するものといえます。これも、組織体制の整備や授業評価等の教育改革にご協力いただいた教職員の皆様のおかげです。

採択されたこれらの事業は、現在推し進められている文科省主導の大学改革の取り組み度合を評価するものです。しかし、大学教育の場に競争原理を導入する現状の改革は、大学の研究力の低下を招いているという指摘もあり、「改革の本質は何か」という問いかけも一部にあります。大学の自己責任という建前で過剰となった大学を淘汰したいという文科省の思惑に乘せられ、その対応が踏絵となっている面もあり、手放しに喜べないところもあります。

ただ、本学の運営体制において遅れている部分があることは確かであり、「黒船」的対応という誇りを受けるかも知れませんが、皆さんが納得する改善がなされるなら、その部分は進めるべきであろうと思います。しかし、単に教職員の雑用が増えるだけという改革の導入は避けねばなりません。本質的な課題を発見し、真剣に学生の成長を促す大学になるための改革をしっかりと見極めることが肝要だと思います。本学が目指すもの、それは現場で創意工夫できる技術者、技術で新しい価値を創造できる人材の育成です。



学長 成田 健一

社会の様々な現場に目を

2018年を迎えました。学園創立110周年・大学設立50周年記念事業として宮代キャンパスにおいて進めてきた工事は食堂棟、クラブ棟、テレビ棟などが昨年完成しました。また、現在工事を進めている講義棟は今年完成の予定です。ご支援くださったという皆様には、あらためて深く感謝申し上げます。

学園は歴史を重ねる中で、このように施設の整備を進め、学生生活の充実を図ってきました。それを支えてくださっていますのが、後援会、工友会をはじめ様々な方々です。本学園はこうした分厚いネットワークとともにあるということを強く思う次第です。

さて、技術や産業界の最近の動向を見回しますと、変化のスピードはますます、従来の当たり前は次々と入れ替わってしまつ。そんな時代に私たちは生きています。例えば、自動運転車の流れからインターネッ



理事長 柳澤 章

ト企業が自動車メーカーになると予測されるのはその一例でしょう。また、充電時間一分で車が数百キロ走る電池の実用化も進んでいると聞いています。従来ITとは遠いと思われるレット端末は強力な武器となっています。また、一方で、アナログのものを新しい価値として見出す流れも様々な場面で生まれています。

昨年はいくつもの企業でデータ改ざんや無資格者による製品検査などが明らかに、日本の製造業の劣

化を懸念する声すらも上がりました。あるいは一つの曲がり角に來ているのかもしれない。

本学園は一世紀を超える歩みの中で、現場に強い、実践能力の高いエンジニアを育ててきました。高い実践能力を保ち、更新し続けるエンジニアとなるには、日々アンテナを張って、社会の様々な現場、シーンに目を向け、関心を広げることが欠かせないでしょう。そうすることで、テクノロジを今まで誰も思いつかなかった分野に浸透させて従来の当たり前をひっくり返していくのです。

学園は、学生のみさんの豊かな学びを育むよりよい環境づくりに努めます。この一年大いにチャレンジしてください。

ノーベル物理学賞受賞 カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部 中村修二教授講演会



高効率青色発光ダイオードの 発明とその後

中村修二教授には2007年6月、青色発光ダイオード（青色LED）の開発をテーマとした講演「青色LED開発秘話」を依頼した経緯がある。10年の時を経た10月19日、大学設立50周年記念事業の一環として講演会が催され、再び演壇に立っていただいた。

当日は雨模様にも関わらず、会場の体育館には学生や教職員、一般の方が多数来場し、1400席がほぼ満席となった。中村教授は青色LED開発の裏話と今後の進展、今後の応用研究の方向性などについて熱く語った。LEDによって世界中で膨大な電力削減が可能となり環境保全に貢献できるなど、LEDを応用したワクワクするような未来社会の展望に聴衆は引き込まれていった。学生に対しては「人間は苦勞なしで成長しない。ものづくりに苦勞しながら励み、成功体験を重ねてほしい」とメッセージを贈った。

講演会終了後には、実兄で本学電気工学科OBの中村康則氏、成田健一学長を交え「これからのものづくりに求められるものは何か」をテーマに鼎談が行われた。中村教授は「1年次から専門科目が学べ、自由にもものづくりができる環境は素晴らしい」と本学独自の実工学教育を称賛。続いて、本年4月に新設される応用化学科の教員と懇談し「他大学の応用化学科を追随せず、実工学教育に基づく独自の教育方針を貫いてほしい」と期待を寄せた。

（2面に関連記事）

日本工業大学 学部 平成30年度入試日程			
【基幹工学部】機械工学科/電気電子通信工学科/応用化学科 【先進工学部】ロボティクス学科/情報メディア工学科 【建築学部】建築学科(建築コース/生活環境デザインコース)			
入試種別	日 程		
特別奨学生入試 【筆記試験 書類審査(調査書等) および面接による選考】	出願期間	1/ 5(金)～1/19(金)※1	
	試験日	1/29(月)～2/ 1(木) 本学(都合のよい1日を選択)	
	合格発表日	2/ 9(金) 16:00	
一般入試	一般入試A		一般入試B
	出願期間	1/ 5(金)～1/19(金)※1	
	試験日 【東京会場は、神田キャンパス】	1/29(月) 本学・東京・郡山・柏・富山 1/30(火) 本学・東京・水戸・宇都宮・千葉・横浜・長野 1/31(水) 本学・東京・仙台・高崎・新潟・静岡 2/ 1(木) 本学・東京	
センター利用入試	合格発表日	2/ 9(金) 16:00	
	センター利用入試A	センター利用入試B	センター利用入試C
	出願期間	1/ 5(金)～1/29(月)	2/ 2(金)～2/14(水)
3月入試 【書類審査(調査書)、面接および 小論文による選考】	合格発表日	2/ 9(金) 16:00	2/24(土)～3/ 9(金)
	出願期間	3/ 5(月)～3/13(火)	3/16(金) 16:00
	試験日	3/15(木) 本学	
3月入試	合格発表日	3/19(月) 13:00	
	試験日	3/19(月) 13:00	
	合格発表日	3/19(月) 13:00	

※1 本学会のみ、窓口は、1/20(土)・22(月)も受付。

【入試チェックポイント】
①1年次の授業料全額(98万円)、または、半額(49万円)を免除！入学手続き締切日は3/12(月)まで。【特別奨学生入試 第2期 他大学との併願可】
②入試奨学金20万円給付！充実の奨学金制度。昨年実績200名！【一般入試とセンター利用入試の成績優秀者】
③インターネット出願割・併願割あり！【特別奨学生入試 第2期・一般入試・センター利用入試】
④全国14ヶ所試験会場 【一般入試A】
⑤2月・3月に受験できます 【一般入試・センター利用入試・AO入試・3月入試】
●各入試の詳細はそれぞれの「募集要項」でご確認ください。

募集要項(願書)のご請求およびお問い合わせ先 TEL.0120-250-267(入試室) URL http://www.nit.ac.jp/ E-mail:nyu-shi@nit.ac.jp

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生
募集
(日本工業大学大学院
社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科

博士前期課程・博士後期課程

*環境共生システム学専攻
*電子情報メディア工学専攻

*機械システム工学専攻
*建築デザイン学専攻

■平成30年度
大学院
社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
二次募集	2月14日(水)～2月21日(水)	2月28日(水)	3月7日(水)	3月12日(月)

お問合せ先：教務部教務課
大学院入試係
TEL 0480-33-7507
URL <http://www.nit.ac.jp>

日本工業大学 専門職大学院(大学院技術経営研究科技術経営専攻)				
中小企業技術経営コース/プロジェクトマネジメントコース/起業・第二創業コース/中小企業診断コース				
働きながら学べる専門職大学院 第14期生 募集！				
■平成30年度 専門職大学院 入試日程				
	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切
第2回募集	12月18日(月)～1月12日(金)	1月20日(土)	1月25日(木)	2月6日(火)
第3回募集	2月5日(月)～2月16日(金)	2月24日(土)	3月1日(木)	3月13日(火)
願書のご請求およびお問い合わせ先： 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 日本工業大学 専門職大学院 TEL: 03-3511-7591 FAX: 03-3511-7594 メール: mot@kanda.nit.ac.jp				

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」 支援対象校として本学の研究が採択

採択研究名「次世代動力源としての全固体電池技術の開発と応用」

本研究は、先端的・学術的な研究拠点の整備により全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する研究（タイプB）として採択された。

蓄電池技術は今後の分散型社会の発展に不可欠な基盤技術であるが、現在主流の液系リチウム電池は高出力化や安全性に課題が多

カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部

中村修二教授に

特別栄誉教授の称号記を授与



記念講演会を終えた中村修二教授は、会場となった体育館周辺に残る学生たちの注目を集めつつ、学長室へと向かった。その途上では、学生からの「並んで写真を撮ってもいいですか」との突然の申し出に中村教授が快く応じる、という微笑ましい場面も見られた。

学長室では、大学関係者が立ち会う和やかな雰囲気の中、成田健一学長

専門職大学院だより

能力を伸ばす異領域との交流

大学院技術経営研究科 教授 高篠 昭夫

専門職大学院では3月の特定課題研究（修士論文）の発表に向けて、それぞれの課題に取り組んでいます。この特定課題研究活動と1年間の授業課程での勉学、院生同士の交流を通して院生自身に自己変革が起こり、大きく成長することが毎年の事として起こっています。

専門職大学院での経験、プロジェクト活動の経験のような異領域の人の接点・交流が個人の能力の伸長につながっていくことを幾度となく見てきました。

このことを「能力を伸ばすコミュニケーション（人と人との接点・交流のパターン）」から考えてみると、接触交流パターンの4つのパターンになります。

1. 異なる経験・異なる専門性の人の接点・交流
この場合ほとんど話を通じません。
2. 経験と専門性が同じ人の接点・交流
話は通じるがアイデアの発見や交換はなく、なれ合いの接触に陥る。例えば同期入社の人と同じ職場

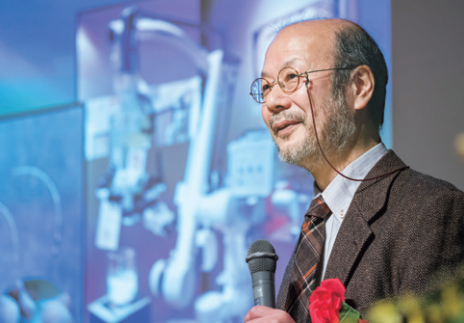
大学設立50周年記念事業 実施報告

「本学卒業教職員の集い」特別講演会

日本のモノづくりの先へ

講演会は11月3日、本学学友会館において、毎年恒例の「本学卒業教職員の集い」特別講演会として、また本学設立50周年記念事業の一環として開催。講師に国立科学博物館産業技術史資料情報センター長を務める鈴木一義氏を招き「日本のモノづくりの先へ」を演題として講演が行われた。

全国の中学・高校等の現職教員、本学教職員、一般参加者、教職課程履修学生など190名が聴講した。



講師の鈴木氏

鈴木氏は、わが国の伝統的なモノづくりの良さや技術の高さ、精巧さなどについて事例を紹介しながら解説した。その技術や技能が現在の日本が世界をリードするモノづくり技術に繋がっていること、日本のモノづくりの精神は欧米型の利益を追求するものではなく匠や技術者が人々を豊かに

専門職大学院

オープンキャンパス

日時 2/3(土) 13:00-16:30 会場 日本工業大学 神田キャンパス

大学院紹介、模擬授業、パネルディスカッション、キャンパスツアーなどを実施します

TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp



水沼 樹 氏

水沼 樹 氏



参加者によるワークショップ

学生自治会中央執行委員会 委員長就任挨拶

皆さんと共に、より良い大学生活に

建築学科3年（栃木県立真岡工業高等学校出身） 水沼 樹

新年あけましておめでとうございます。新たな希望を胸にそれぞれ躍進していくことかと存じます。

この度、第50期中央執行委員会委員長に就任致しました、水沼樹と申します。50期という節目にこのような栄誉ある役職に就けることを大変うれしく思います。

私が本学に入学してから早3年が経とうとしています。入学当初は新たな環境や新たな出会いに心躍り、また、そのような中で出会った中央執行委員会

災害時の地域連携力
育成勉強会

地域住民・専門職の連携をテーマとした。



工友会からの目録贈呈

工友会からの目録贈呈

50周年記念事業に寄付



電気工学科同窓会からの目録贈呈

第45回若杉祭開催報告

みんなで一丸となって創り上げた2日間

今回のテーマは「和」。来場者、参加団体、スタッフが一丸となって、心より楽しめる若杉祭（大学祭）を創りあげたいという想いが込められている。

委員会やサークルが企画した個性豊かな模擬店や各種イベントスペースは在学生や学外からの来訪者で賑わい、学生スタッフが対応に追われていた。このほか3組のアーティストを招いた「秋のからっ風こんさあと」、人気

アニメ声優によるトークショーなどのイベントも盛況であった。また同時開催行事として29日に「3D-CADプロダクトデザインコンテスト表彰式」、「建築設計競技表彰式」が催され、これを機に来学した高校生も若杉祭を満喫していた。

期間中は台風接近の影響もあって天候に恵まれなかったが、関係者全員の熱意によって成功裏に終えることができた。



上段左より:模擬店、音楽サークルのライブ、環境推進委員会展示 下段左より:特撮研究会展示、プロダクトデザインコンテスト作品展示、建築設計競技表彰式

ものづくり環境学科 鈴木宏典教授

米国電気学会

ベストプレゼンテーション賞



表彰状を受け取る鈴木教授（左）

た。受賞論文名は「先行車の減速意図の予測に基づく追突事故低減に関する研究」。

9月2日、シンガポールのナンヤン理工大（NTU）で行われた第2回米国電気学会（IEEE）知能交通工学国際会議において、ものづくり環境学科の鈴木宏典教授が優秀講演賞を受賞し

に危険度に応じた色（黄・橙・赤）で表示することにより、後続車のドライバに先行車の減速を伝えるシステムを開発。追突リスクの低減効果が期待できると高く評価された。

自動運転の技術開発が進む一方で、人間による手動運転も当面は継続される。運転支援技術という枠組みの中で追突事故の低減を図っていくことは、今後重要な課題である。

電子情報メディア工学専攻 中山君・関口君 電気学会 電子・情報システム部門 優秀ポスター賞



授賞式に臨んだ中山君（左）と関口君

9月6～8日に香川県で開催された電気学会電子・情報システム部門大会において、電子情報メディア工学専攻博士前期

電子情報メディア工学専攻 原君

計測自動制御学会

研究奨励賞

電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（於保研究室）の原正東君が9月1日、公益社団法人計測自動制御学会第34回シンポジウムにおいて研究奨励賞を受賞した。論文名は「超

音波ドップラークラック角センサの角度、回転数、トルクの計測」。同研究室としては2年連続の受賞となる。

自動車のエンジン等の回転計測には従来から磁気式センサーが用いられて



受賞に際し原君は「指導の於教授をはじめ、協力していた関係者の方々に大変感謝している。受賞を励みとして、より一層研究に邁進し、社会に貢献できる技術者を目指したい」と抱負を述べた。原君は今春から自動車部品メーカーのケーヒンに就職が決まっており、今後も自動車業界での活躍が期待される。

国家技能検定試験

機械工学科学生5名が合格 4名が県知事表彰

9月29日に発表された中央職業能力開発協会主催の国家技能検定試験（普通旋盤）に機械工学科の学生5名が挑戦し、全員が合格。うち4名が成績優秀者として県知事表彰された。授賞式は11

月30日の「第25回彩の国職業能力開発促進大会」にて執り行われた。検定試験では、決められた課題を時間内に製作する実技試験、機械工学科試験が課せられるため、実技の習熟に加えて意欲的に語った。

豊富な専門知識も必要となる。受検者は合格への強い決意をもって2月から春休みを返上して準備に入り、新学期となった4月以降は卒業研究、就職活動はもとより、教育実習や過密な授業時間の合間を工面し、機械実工学教育センターでの実技訓練と学科試験対策を重ねてきた。

本学の検定試験への取り組みは今年度で5年目となり、累計23名が受検している。5年連続で全員合格という実績は、学生諸君の努力はもろん、指導にあたった同センタースタッフの熱意の賜物でもある。



左より高坂君、児玉君、町屋君、山岸君、木村君

ピレリカップ総合優勝 今年、世界の舞台へチャレンジ!



機械工学科4年（二ノ宮研究室）の長尾健吾君（TEAMけんけんwith BEE）が国内2輪レース「ピレリカップ600チャレンジシリーズ」の2017年度シリーズチャンピオンに決定した。シーズン戦績は8戦中7勝と圧勝で、全レースで表彰台に上がった。長尾君は今年の「ワールドスーパースポーツ（WSS600）」の1戦に参戦する権利を獲得。世界の舞台での活躍が期待される。



左より野島君、相澤君、神尾君

11月12日、埼玉県内の春日部市で、相澤宏樹君（建築学科3年）、神尾健太君（同）、野島功名君（ものづくり環境学科3年）のチームが最優秀賞を受賞した。受賞テーマは「蔵のリノベーションと日光街

道の街春日部のPR」により東口をインバウンド観光化。春日部駅に残る明治時代の古い蔵を修復し、宿泊施設や日光街道テーマとしたアンテナショップとして再生することで観光ビジネスや雇用を創出し、地域活性化に繋げる提案を行った。提案の具体性や実現性を徹底した実地調査に加え、建築士や地域金融機関へのヒアリングを実施し、事業の妥当性や運営計画まで追求した姿勢が高く評価された。

大学生政策提案コンテスト 最優秀賞受賞

11月12日、埼玉県内の春日部市で、相澤宏樹君（建築学科3年）、神尾健太君（同）、野島功名君（ものづくり環境学科3年）のチームが最優秀賞を受賞した。受賞テーマは「蔵のリノベーションと日光街

道の街春日部のPR」により東口をインバウンド観光化。春日部駅に残る明治時代の古い蔵を修復し、宿泊施設や日光街道テーマとしたアンテナショップとして再生することで観光ビジネスや雇用を創出し、地域活性化に繋げる提案を行った。提案の具体性や実現性を徹底した実地調査に加え、建築士や地域金融機関へのヒアリングを実施し、事業の妥当性や運営計画まで追求した姿勢が高く評価された。

エコプロ2017

国内最大級の環境展に学生が出展

12月7日から9日にかけて東京ビックサイトで開催された環境・エネルギーの総合展示会「エコプロ2017」に本学学生環境推進委員会が出展した。出展ブースでは同委員会の年間環境活動、本学環境関連施設についてパネル展示で紹介。会期中は学生スタッフが常駐し、来訪者の質問に答えるなど、丁寧に対応していた。



左より高坂君、児玉君、町屋君、山岸君、木村君

ビジネスプランコンテスト 審査結果

応募総数279件から14件の入賞が決定

10月30日、「学生起業家支援プログラム第12回ビジネスプランコンテスト」の最終審査が学友会館において開催された。応募総数377名、279件のプランから1次審査、2次審査を通過した8組のプレゼンテーションが行われ、岡毅君（機械工学科3年）のプラン『採石場をオフロードカー・オフロードバイクの聖地に～自由に趣味が堪能できる遊び場へ～』がグランプリとなる学長賞を獲得した。



白衣を着用した個性的なプレゼンテーション



学長賞を受賞した岡君

審査結果	氏名	プラン名
学長賞	岡 毅	採石場をオフロードカー、オフロードバイクの聖地に～自由に趣味が堪能できる遊び場へ～
NITEC 埼玉産学交流会賞	長倉 智史 邸 駿皓	工場清掃用ウルトラファインバブル液発生キットの販売
川口信用金庫賞	延山 夕莉	今後の高齢化社会に向けた「良く働き、良く学ぶ」ためのコーディネートサービス
宮代町長賞	相澤 宏樹	KIDS BOXING SCHOOL ～ココロとカラダを鍛える～
杉戸町長賞	川村 佳史	太田マルシェ 一農作物の出品代行及び宅配サービス
審査員特別賞	野島 功名	研究マスター～実験からレポートまで、研究の全てがわかる！～
産学連携起業教育センター長賞	大塚 尚貴	一人部屋における防音空間の提供
起業家支援財団賞	田中 竣哉 加嶋 宏章	日本工業大学主催「過去と未来をつなぐ工業技術」
奨励賞	齋藤 雅大	訪日外国人への空き家貸出サービス
奨励賞	加藤 亮祐	交通情報リアルタイムsns 「nisesibuya(偽渋谷)」
奨励賞	木村 優樹	ファームランド 農業遊園地
奨励賞	黒岩 俊希	その人にあったファッション選択でのビジネス
奨励賞	中間 玲唯	地域ネットワーク作りとIT弱者でも利用できる通販型の宅配システムをセットにしたパッケージの販売
奨励賞	村田 一哉	ゲームソング・アニメソングの音楽ストーリーミングサービスを通して海外へ！



明るく、落ち着いたスペースに本学の歴史写真などを展示

来場者を迎えた。PRスペースでは、大々学および日本工業大学駒場高校のパンフレット等の資料や、戦前・戦後の本学の写真、パネル展示等を行い、本学のこれまでの歩みとこれからのビジョンを来訪者に紹介した。バリスタによる無料の「振る舞いコーヒー」も提供し、古書巡り中の人々は、PRブース内のベンチに腰掛け、コーヒーを片手にひと時の休息を楽しみながら、本学の資料を

「世界最大の古書店街」と称される神田神保町。「神田古本まつり」は、例年50万人ともいわれる人出を誇る。今後、回すペースは学校法人全体のPR施設として、通年の活用を目指す。古書店街とも足並みをそろえつつ、具体的な運営方針を検討する予定である。

10月27日から11月5日にわたり神田神保町にて「神田古本まつり」が行われた。本学神田キャンパスも一階の空き店舗を活用し、古本まつり来場者の休憩スペースを兼ねた本学のPRスペースとして一般公開し、多くの来場者を迎えた。PRスペースでは、大々学および日本工業大学駒場高校のパンフレット等の資料や、戦前・戦後の本学の写真、パネル展示等を行い、本学のこれまでの歩みとこれからのビジョンを来訪者に紹介した。バリスタによる無料の「振る舞いコーヒー」も提供し、古書巡り中の人々は、PRブース内のベンチに腰掛け、コーヒーを片手にひと時の休息を楽しみながら、本学の資料を

古本まつりで展示・イベントを実施

神田キャンパスにPRスペース開設

親子でサイエンススクール

11月18日、栃木市の小学生と保護者を対象としたサイエンススクールが実施され、20組41名が参加した。子供達の「科学する心」を育むことを目的に1年ぶりに開催、今回は安全面を配慮しながら「電子オルゴール」等のものづくり体験をはじめ、工業技術博物館見学やSLの試乗、「次世代ロボット」の研究室見学などを実施した。



SL試乗後の参加者の皆さん

第2回新学部学科説明会

新学科紹介、施設見学などを実施

10月19日、高等学校教諭を対象として、春（5月26日）の開催に続き、第2回新学部学科説明会をLCセクター1階マルチメディア教室にて開催した。

当日は近隣の高等学校教諭を対象として、春（5月26日）の開催に続き、第2回新学部学科説明会をLCセクター1階マルチメディア教室にて開催した。

その後休憩をはさみ「体験報告」として、生活環境デザイン学科1年の岩崎美祐さんが奨学生入試やキャンパスライフなど自身の経験談について、機械システム工学専攻2年の檜山正樹さんが現在取り組んでいるVRの研究について発表し、続いて、少人数のグループに分かれ、新設されたダイニングホールをはじめ各施設を見学した。

その後休憩をはさみ「体験報告」として、生活環境デザイン学科1年の岩崎美祐さんが奨学生入試やキャンパスライフなど自身の経験談について、機械システム工学専攻2年の檜山正樹さんが現在取り組んでいるVRの研究について発表し、続いて、少人数のグループに分かれ、新設されたダイニングホールをはじめ各施設を見学した。

大学入試センター試験 実施予告

大学入試センター試験の実施が1月13日・14日の両日に予定されており、本学は今年度の試験会場となっている。前日12日から当日にかけて、工業技術博物館を含め関係者以外キャンパスへの立入りが制限される。

大学入試センター試験の実施が1月13日・14日の両日に予定されており、本学は今年度の試験会場となっている。前日12日から当日にかけて、工業技術博物館を含め関係者以外キャンパスへの立入りが制限される。

大学入試センター試験の実施が1月13日・14日の両日に予定されており、本学は今年度の試験会場となっている。前日12日から当日にかけて、工業技術博物館を含め関係者以外キャンパスへの立入りが制限される。

赤倉山荘 リニューアルオープンのお知らせ

赤倉山荘は新潟県妙高高原に本学園が所有するセミナーハウス。赤倉温泉にも近く、四季折々の風情が豊かでウィンタースポーツも楽しめる。昨年8月末に着工した改修工事が12月末に完工し、利用受付を再開した。



改修され明るいイメージになったロビー

人事異動

- 【任命】（12月1日）
 - ◆教務部長兼務 成田健一学長
 - ◆教務部長補佐 辻村泰寛教授
- 【解任】（11月30日）
 - ◆教務部長 神野健哉教授
 - ◆システム管理室長兼務 成田健一学長
- ◆国外出張
- ◆小田恭市教授（共通教



北海道から九州まで、52校の教諭が参加

育系）／出張先中国（9／24～9／27）／目的中国における株式上場式典出席と関係者との討議

◆池添泰弘准教授（創造システム工学）／出張先フランス（10／22～10／28）／目的磁気科学国際会議にて研究発表

◆黒津高行教授（生活環境デザイン）／出張先ネパール（10／29～11／3）／目的ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業に伴う現地調査

◆大橋裕太郎准教授（情報工学科）／出張先フィンランド（11／11～11／17）／目的二学校における情報学教育に関する国際会議での研究発表及び視察

◆柳澤章理理事長／出張先中国（11／16～11／21）／目的衢州中等専門学校の講演会および開校30周年式典参加

◆古閑伸裕教授（機械工学科）／出張先中国（11／16～11／21）／目的衢州中等専門学校の講演会および開校30周年式典参加

◆平栗健史教授（電気電子工学科）／出張先メキシコ（12／3～12／9）／目的二同前

◆松浦隆文助教（情報工学科）／出張先メキシコ（12／3～12／9）／目的二同前

◆大田健紘助教（電気電子工学科）／出張先メキシコ（12／3～12／9）／目的二同前

◆桑原拓也准教授（ものづくり環境学科）／出張先中国（11／25～11／29）／目的二エネルギー変換に関する国際会議での研究発表

◆進藤卓也助教（電気電子工学科）／出張先メキシコ（12／3～12／9）／目的二同前

◆白木将教授（創造システム工学科）／出張先アメリカ（12／3～12／10）／目的二第11回新材料とデバイスの原子レベルキャラクター化に関する国際会議にて研究発表

◆吉野秀明教授（電気電子工学科）／出張先シンガポール（12／4～12／8）／目的二2017年IEEEグローバル通信に関する国際会議GLIBCOMでの委員会運営

◆勝間田仁准教授（情報工学科）／出張先台湾（12／17～12／21）／目的二第9回コンピュータサイエンスとその応用に関する国際会議での研究発表

宮代町民文化祭

宮代町民文化祭 文化公演会

2月4日14時から、進修館大ホールにて「アミューズ・クインテットコンサート」を開催します。音楽界の第一線で活躍するメンバーが、人気の映画音楽と本格クラシックの名曲とともに、素敵な時間を過ごしてください。

※一時保育あります（要事前申込）

■問合せ 宮代町教育委員会（生涯学習担当）0480・34・1111 1内線434

時間をお届けします。チケット（全席自由）一般1000円、小中学生500円

教育委員会と進修館で販売しています。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

編集後記

▼輝かしい新春を迎え、皆さんの今年の目標は決められたかどうか。希望に満ちた年であることを祈念したい。

▼さて、今年の干支は戌だ。周知のとおり子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、そして戌亥の十二支は、もともと中国古代の殷の時代に作られたものである▼紀元前3～5世紀の戦国時代に、それぞれの干支に動物が当てられたという。以来、2000年以上に渡って受け継がれてきたが中国では「時期」に代わって「干支」が十二支に含まれていたことがあるそうだ▼これは、十二支のうち「辰龍」だけが架空の動物で更には帝王のシンボルであることが理由とのことだ。1970年代の文化大革命の時代に、辰は人民共和國にふさわしくないということだろ

う▼しかし文化大革命が終了すると、直ぐに辰に戻されたとのことだ▼新年早々の蘊蓄話にお付き合いありがとうございます。今年も宜しく。【信】